

2022年1月26日

各 位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～株式会社マルサ～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、株式会社マルサ様（代表取締役 佐藤直也）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会 社 名	株式会社マルサ
所 在 地	〒024-0003 岩手県北上市成田 26-83-12
代 表 者	代表取締役 佐藤 直也
業 種	産業廃棄物処理業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：佐藤） TEL：080-8603-1669



株式会社マルサ

代表取締役 佐藤直也

(所在地：岩手県北上市)

MARUSA CO.,LTD



当社について

当社は昭和10年に創業した資源リサイクル及び、産業廃棄物処理業者です。
お客様から排出される廃棄物やスクラップなどを収集・管理し、多様なニーズに応え、原料（マテリアル）及び燃料（サーマル）のリサイクル処理に日々取り組んでおります。
「和・誠意・努力」の経営理念のもと、安心、迅速、信頼をモットーに産業界をリードし皆さんのパートナーとしてお応え致します。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	水質汚染の防止、大気汚染の防止、廃棄物の3Rの推進
従業員の働きがい	総労働時間の削減、シニア活躍推進、多様で柔軟な働き方の推進
地域社会への貢献	まちや河・海の自然の保護活動、寄付活動、地域とのコミュニケーション
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、不正の早期発見・防止策、業務効率化や生産性の向上

株式会社マルサ SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2022年1月26日
株式会社マルサ
代表取締役 佐藤直也

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

資源循環を意識した持続可能な3Rの推進により、地球全体の環境保全に貢献します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・地域に根差した近隣河川の保全活動への協賛
- ・エコドライブの推進と電気自動車の導入促進
- ・サプライチェーン全体による再資源化率の向上



従業員の働きがい

従業員のライフワークバランスの充実を図り、働きやすい会社を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・業務効率化の徹底による会議や残業時間の削減
- ・若年層から熟練層まで誰でも働きやすい職場環境づくり
- ・ライフワークバランスを踏まえた勤務体制の構築



地域社会への貢献

地域との積極的なコミュニケーションにより、地域の自然と住民の方々との調和を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・定期的な地下水の水質調査の実施
- ・地域と自然保護、従業員をつなぐ寄付活動
- ・職場体験を通じた産業廃棄物処理・リサイクル業界のイメージアップ



コンプライアンス・ガバナンス

持続的な経営基盤の強化による、遵法意識の向上とより高度な企業倫理の構築を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・経営陣を含む全従業員によるコンプライアンス意識の醸成
- ・風通しの良い組織風土の醸成
- ・デジタル技術を活用した”カイゼン”への取組強化

